



24 新潟県立新発田南高等学校

所在地 〒957-8567 新発田市大栄町 3-6-6
 [最寄の交通機関] JR羽越線新発田駅下車徒歩 15 分
 電話 0254-22-2178
 F A X 0254-26-8397
 校長名 大湊 卓郎
 課程 全日制
 創立 大正 6 年 5 月 1 0 日
 生徒数 9 6 0 名 (平成 3 0 年 5 月 1 日現在)



学科	学年		1 年		2 年		3 年		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
普通科	61	100	56	103	76	82	193	285		
機械工学科	149	12	41	2	38	0	119	2		
電子情報工学科			35	1	35	3	110	4		
建築工学科			31	10	36	7	96	29		
土木工学科			36	3	38	5	114	8		
計	210	112	199	119	223	97	632	328		

※ 1 学年工業科は、くくり募集です。



入学者選抜 (平成 3 1 年度予定)

学科	募集定員	一般選抜	学校独自検査	備考
普通	1 6 0	調査書：学力検査 (3 : 7)	筆答検査 B	
工業	1 6 0	調査書：学力検査 (4 : 6)	P R シート	一括の「くくり募集」とする。

※ 募集定員は平成 3 0 年度のもので、平成 3 1 年度募集学級数及び募集定員が確定した後、ホームページを更新します(1 0 月予定)。

1 一人一人の個性を磨いて進路の自己実現を目指そう

本校は、昨年 1 0 0 周年を迎えた伝統校で、普通科と工業科が併設された特色ある高等学校です。普通科、工業科ともに上級学校への進学実績を着実に伸ばしています。

普通科では、2 年生から文系と理系に分かれて学習します。3 年生では、さらに進路希望に応じた選択科目を設定し、大学進学に向けた指導をしております。工業科は、入学時は学科を決めず一括くくり募集とし、2 年生以降、機械工学科、電子情報工学科 (電子制御コース、情報システムコース)、建築工学科、土木工学科の 4 学科 5 コースに分かれます。それぞれのコースには、普通科目を多く取り入れ大学進学を目指すアカデミックコースと、工業専門科目を多く取り入れ工業のスペシャリストを目指すプロフェッショナルコースが開設され、進学と就職の両方に対応したきめ細かな指導を行っております。卒業生は、在学中に取得した各種検定・資格を活かし、地元を中心とした産業界や官公庁で地域発展のため技術者として活躍しています。

今までの伝統の上に、さらに未来に向かい飛躍を続けている本校で、個性を磨いて自分の力を伸ばしてください。

2 教育目標

誠実：強くたくましい心身と豊かな情操を養い、常に人間性の豊かさを求めて努力する人間を育成する。

自主：真理と正義を愛し、知性を高め文化の進展に寄与する個性豊かな人間を育成する。

創造：勤労と責任を重んじ、技術技能を磨き、創造力を養い、よりよい社会をつくる人間を育成する。

3 目指す学校像のコンセプト

- (1) 大学等への進路希望達成に向けた手厚い指導をします。
- (2) 就業体験等に積極的に取り組み就職率100%を続けます。
- (3) 3年間を通じて地域の課題解決を目指した地域と連携したキャリア教育を推進します。

4 学校生活

(1) 教育課程・授業など

- ① 8時50分にSHRが開始され、授業時間は55分で、午前3時間、午後3時間の授業です。
- ② 普通科では、2年生から文系と理系に分かれて学習します。3年生では、さらに進路希望に応じた科目選択ができます。
- ③ 1年生では、学習は基礎学力の充実と家庭学習の習慣化を目指して週末課題(宿題)等が出題されます。2年生では、応用力の養成に努めています。3年生では、2学期末考査終了後、センター試験対応の特編授業を実施しています。各学年とも長期休業中や放課後に補習を行っています。
- ④ 毎日の朝学習による課題学習、平日の放課後や土・日曜日は、自習室を開放しています。土・日曜日も学校で自主学習する生徒が大勢います。
- ⑤ 工業科では、普通科目と専門科目の授業の他に現場見学、就業体験があります。大学への進学希望者はアカデミックコースを選択すれば、大学受験に必要な普通教科を多く学習することができます。
- ⑥ 工業科の生徒は、各種検定・資格取得に向け、積極的に学習しています。取得可能な国家資格・検定は次のようになっています。これらの資格を取ることによってジュニアマイスターの称号が得られます。

時 間 割	
SHR	8:50～ 9:00
1限	9:00～ 9:55
2限	10:05～11:00
3限	11:10～12:05
昼休	12:05～12:50
4限	12:50～13:45
5限	13:55～14:50
6限	15:00～15:55

技能検定(技能士)、二級ボイラー技士、ガス溶接技能講習、電気工事士
危険物取扱者、建築施工管理技士、測量士補、土木施工管理技士 等

(2) 生徒会活動等

主な行事は体育祭、球技大会、文化祭(南高祭)です。生徒会役員、生徒が主体となって活発に活動しています。体育祭では、本校伝統の応援合戦に各団とも力が入り、衣装や集団演技が見ものです。部活動は19の運動部、13の文化部、4つの同好会等があり、各部とも活動が盛んです。平成30年度はバドミントン部が全国大会に、陸上部、柔道部、弓道部、空手部が北信越大会にそれぞれ出場しました。また、昨年度はバドミントン部、陸上部、登山場が全国大会に、男子ソフトテニス部、柔道部、弓道部、電子情報研修部が北信越大会に出場しました。

主な学校行事 4月 入学式・学習合宿 6月 体育祭 7月 球技大会
9月 南高祭(文化祭) 10月 修学旅行 3月 卒業式

5 進路状況

(1) 進路実現を目指して

進路実現を達成するため、入学時から進路指導に力を入れています。

① 学習習慣形成学習

学習方法の習得と学習習慣の定着を目的として、1年生は普通科、工業科とも学習合宿を実施しています。この宿泊合宿を通じて学習習慣形成を図るきっかけとなるような指導を行っております。

② 進学補習

全学年において、朝学習と長期休業中の補習を行います。ほぼ全員が進学を希望する普通科では、3年の6月から毎日、放課後補習を行います。また、2学期末考査終了後、センター試験対応の特編授業を実施します。

③ 模擬試験

普通科では1、2年生全員が全国模試を受験し実力を測ります。3年はセンター試験模試、小論文模試、医療系模試、全国統一模試、看護医療模試など志望校に応じた模試を受験し対策を立てます。工業科も進学希望者は模試を、就職希望者は2年生から公務員模試を受験し対策を立てます。

④ 進学講演会、分野別進路指導等

普通科、工業科とも、生徒と保護者を対象に講演会を行います。また、国公立大学、私立文系大学、私立理系大学、短大、医療系専門学校、一般専門学校等、生徒の志望する分野ごとの進学指導にも力を入れています。さらに、推薦入試受験者に対応するため、面接指導や小論文指導にも力を入れています。

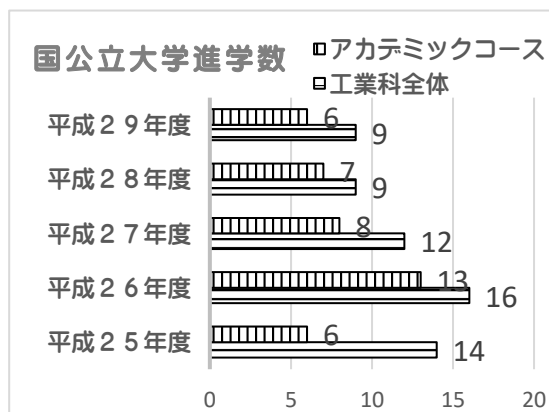
⑤ 企業見学などキャリア教育の推進

工業科の生徒は、学科別に企業(現場)見学を実施します。インターンシップ、デュアルシステム等のキャリア教育を積極的に実施しています。普通科では、看護体験や福祉体験などに参加しています。

(2) 工業科の進学について

平成25年度以降の国公立大学合格者数は毎年10人前後で、今春は昨年同様9名の生徒が国公立大学に進学しました。アカデミックコースを設置したことで受験での学力、学習意欲や進学意欲が向上しています。一括くくり募集したことにより工業科が一体となって進学指導ができるようになった成果がみられます。

特に新潟県以外の国公立大学への受験者も増加傾向にあり、今後も合格者数の増加を目指します。



(3) 平成30年3月卒業生の主な進学・就職先(カッコ内は人数)

大 学【普通科(107)、工業科(36)】

国公立大：新潟大、上越教育大学、新潟県立大、長岡造形大、北海道教育大、室蘭工大、秋田大、山形大、福島大、群馬大、富山大、福井大、愛媛大、秋田県立大、米沢栄養大、群馬県立女子大、高崎経済大、山梨県立大、長野大、長野県立大、福井県立大、滋賀県立大 など

私立大：明治大、中央大、法政大、東洋大、日本大、駒澤大、専修大、大東文化大、東海大、亜細亜大、国士舘大、龍谷大、玉川大、桜美林大、フェリス女大、神奈川

大、関東学院大、新潟医療福祉大、新潟青陵大、新潟薬科大、新潟国際情報大、金沢工業大、東北工業大、千葉工業大、新潟工科大 など

短 大【普通科(14)、工業科(7)】

新潟青陵短大、日本歯大新潟短大、明倫短大、会津大短大、山形県米沢女短大、共立女短大、育英短大、三重短大、近大高専、新潟工業短大 など

専門学校【普通科(24)、工業科(40)】

新発田病院付属看護専、昭和大学医学部付属看護専、看護リハビリ新潟保健医療専、新潟看護医療、国際メディカル専、新潟医療技術専、大原簿記公務員専、新潟公務員法律専、新潟情報専、新潟日建工科専、新潟工科専 など

公共職業能力開発施設【工業科(13)】

新潟職業能力開発短期大学校

就 職【普通科(3)、工業科(52)】

新潟市役所、東北電力、トヨタ自動車、東日本旅客鉄道、クラレ新潟事業所、新潟トランス、日本シイエムケイ、水澤化学工業中条工場、加賀田組、福田組、小野組、亀田製菓、新潟造船、新潟原動機、THK新潟、日立産機システム中条事業所、グローバルウェーブズジャパン、第一建設工業、皆川組 など

《在校生からのメッセージ》

新発田南高校は普通科と工業科が併設された全国的にも珍しい特色を持つ学校です。普通科は大学進学を目標とする生徒が多く、補習や模試試験などもたくさん実施され、受験に対応する学力を磨いています。

工業科は機械・電子情報・建築・土木の4学科に分かれ、それぞれにアカデミックコースとプロフェッショナルコースがあります。資格を多く取得すると「ジュニアマイスター」という称号を授かることができます。

先生方は進学や就職について、丁寧に親身になって進路決定する最後まで指導して下さります。また、体育祭や文化祭といった学校行事では、上級生を中心として学校全体が一丸となって取り組み、とても盛り上がります。部活動は、運動部も文化部もとても活発に行われ、常に高いところを目指して頑張っています。

新発田南高校の生徒は何事にも一生懸命で、一人一人進路の自己実現に向けて文武両道を目指し、充実した高校生活を送っています。

新発田南高校で、思い出に残るような高校生活を一緒に過ごしましょう。

6 学校納付金について

学校納付金については、次のようなものがあります。

(1) 合格者登校日での納付金（普通科 66,000 円、工業科 63,795 円）

- ① 教科書（普通科 7,900 円、工業科 9,995 円）
- ② 副教材・教具（普通科 25,740 円、工業科 17,240 円）
- ③ 内履・外履（セットで 8,910 円）
- ④ 体操着 15,300 円
- ⑤ 柔道着（工業科男子希望者のみ 4,200 円）
- ⑥ バッジ 350 円
- ⑦ 個人用ロッカー 7,800 円

(2) 入学料 5,650 円 授業料 118,800 円（年間）

(3) 修学旅行積立金（5月～ 各月 8,600 円）

(4) その他（生徒会費 9,000 円、PTA 会費 5,500 円、冷房費 5,200 円、学年諸経費 60,000 円、育英会費 12,000 円 等）

※上記は、平成 30 年度 1 年生の実績額です。

※授業料等の減免制度、就学支援金等については事務室にお問い合わせください。